

国内BDAテクノロジー / サービス市場予測を公表

Japan, 2020年6月10日 - IT専門調査会社 IDC Japan 株式会社 (所在地: 東京都千代田区九段北1-13-5、代表取締役社長: 竹内正人、Tel代表: 03-3556-4760) は、国内BDAテクノロジー / サービス市場予測を公表しました。

2019年のBDAテクノロジー / サービス市場は、前年比10.0%増、1兆799億5,100万円になったとIDCでは推定しています。企業でのマーケティング / 顧客エクスペリエンス / 営業予測 / リスク分析などの分野でデータ分析需要が増加し、企業のデジタルトランスフォーメーション (DX) 推進の中核となっています。今後も企業のDX促進要因としてデータ分析のためのBDAテクノロジー / サービス市場は拡大するとIDCでは予測しています。しかし同市場においても新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 流行の影響は避けられず、2020年、2021年は一時的に成長が鈍化すると予測します。この結果、2019年~2024年のCAGR (Compound Average Growth Rate: 年間平均成長率) は11.7%、2024年の市場規模は1兆8,765億7,400万円になると予測します。

2019年の同市場は、オンプレミスでのリプレイス需要が堅調で、BDAインフラストラクチャ市場が堅調に成長しました。また、BDAソフトウェア市場、BDAサービス市場についても、2018年から継続しているITプラットフォーム上のデータウェアハウス構築、これに伴うデータベースソフトウェア / インテグレーションソフトウェアなどが好調に推移しました。2020年以降のBDAテクノロジー / サービス市場全体は、COVID-19の影響でビッグデータ分析プロジェクトの凍結が考えられ、一時的に成長は鈍化すると予測していますが、ユーザー企業のDXプラットフォームへの投資意欲は2022年以降には回復し、再び好調な成長になると予測しています。

IDC Japan グループディレクターの真鍋 敬は「COVID-19の影響は国内経済に甚大な影響を与える可能性があり、国内BDA市場においてもこの影響は避けられない。しかし、企業のデータ分析需要は継続しており、COVID-19の影響は一時

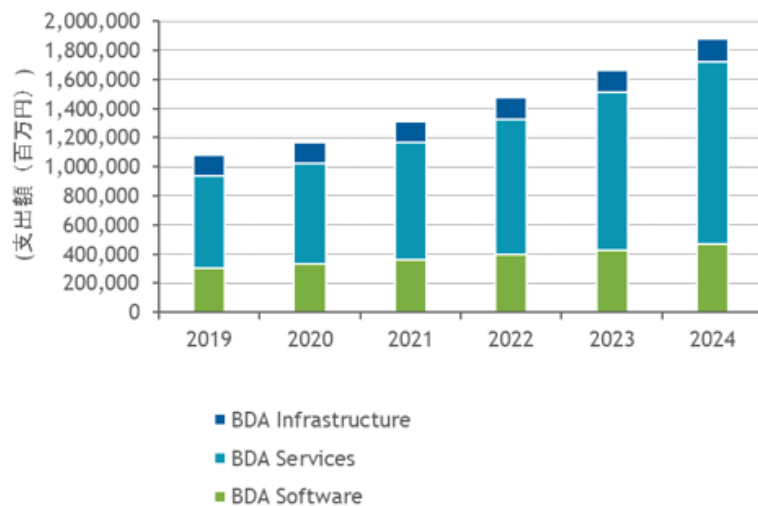
的であり、長期的には同市場の成長は継続する」と述べています。

今回の発表はIDCが発行した「[国内 BDA テクノロジー / サービス市場予測、2020年～2024年](#)」にその詳細が報告されています。本調査レポートは国内BDAテクノロジー / サービス市場の2019年の実績と2020年～2024年の予測を提供しています。

< 参考資料 >

国内BDAテクノロジー / サービス市場 支出額予測 2019年～2024年

Figure 1



Note: 本市場予測は、2020年3月末時点における新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の影響および見通しを考慮したものである

Source: IDC Japan, 6/2020

IDC is a subsidiary of IDG, the world's leading technology media, research, and events company. Additional information can be found at www.idc.com. All product and company names may be trademarks or registered trademarks of their respective holders.

For more information contact:

jp-Press Japan

jp-press@idcjapan.co.jp

+81-3-3556-4768